

名古屋市教育委員会 様

名古屋市立梅森坂幼稚園長

令和 5 年度 学校評価報告書

学校教育の 努力点(主題)	主体的に遊びを楽しむ幼児の育成 ～少人数学級ならではの保育を見つめて～	Ⅱ
------------------	--	---

1 実践のねらい

今年度、全園児合わせて 34 人でスタートした。少人数ゆえか、自分の思いを言わなくても相手に何となく伝わる、誰かが何とかしてくれる等の雰囲気があった。

そこで、少人数学級の中で主体的に遊びを楽しむ幼児の育成を目指しながら、少人数学級であることが強みとなる保育のあり方を追究したいと考えた。

2 実践のねらいに迫るための手立て

- ① 事例検討や研究保育で少人数ならではの教師の援助や環境の構成のあり方を捉え保育実践に生かす。
- ② 保育実践を記録や写真などに留め、評価・反省をして次の実践につなげる。
- ③ 少人数ならではの行事のあり方を考える。
- ④ 経験したことによる育ちを伝え幼稚園教育に理解を得て、家庭との連携を図る。

3 実践の内容

研究保育、事例検討等で少人数学級での教師の援助や環境の構成について、遊びや生活の中の幼児の言動を丁寧に捉えて振り返った。また、行事や日ごろの生活の中で、他学年との関わりをさらに意識した保育内容を考え実践した。保護者には幼児の育ちを理解してもらえよう、降園時にその日の保育の写真を見せながら幼児がそこで経験している意味とそれがどのように育ちにつながるか伝えるように心掛けた。

4 成果と課題

教師の援助と環境の構成のあり方として次のことが明らかになった。

- 一人一人の幼児への細やかな配慮と手厚い援助がより可能になる。
- 幼児がしたいことが実現できるまで教師がじっくり関わるゆとりがあり、自分の思いや思い付いたことを表して遊ぶ楽しさや満足感を得ることができる。
- 少人数では教師と幼児、幼児同士の関係性が密になる。そのことは利点だが、互いの存在が気になり過ぎる状況にもなる。大人の目を気にせずほっとできる、自ら気持ちを立て直すことができる、幼児同士の関わりを楽しめる環境や幼児との適度な距離を保った教師の援助が必要である。

幼稚園アンケートでは、幼児が意欲的に活動する場面の評価が高かった。保護者の幼稚園教育に対する理解を得て、連携して保育ができたと考える。学校評議員からは昨年度の反省を生かし、地域の方を招き連携を深めることができたと評価をもらった。

5 来年度に向けて

さらに在籍数が減少する。幼児が思いを表し、主体的に遊びを楽しむことが、一人一人の育ちに必要な経験となるよう話し合いを深め援助のあり方を工夫したい。